

理 科

科 目 名	単 位 数	学 年	学 科
生物基礎	2 単位	2 年	農業機械科

教 科 書	生物基礎（実教出版）	副 教 材	生物基礎の基本マスター 新訂版（啓林館）
-------	------------	-------	-------------------------

科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。
-------	---

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	1 章 生物の特徴 1 節 生物の多様性と共通性 2 節 生物とエネルギー 2 章 遺伝子とその働き 1 節 遺伝情報と DNA	・生物の特徴について、その特徴、遺伝子とその働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	・生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。
2 学期	2 節 遺伝情報とタンパク質の合成 3 章 ヒトのからだの調節 1 節 体内環境 2 節 体内環境の維持のしくみ 3 節 免疫	・ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節、免疫を理解しているととともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	・ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫系との特徴を見いだして表現している。
3 学期	4 章 植物の多様性と生態系 1 節 植生と遷移 2 節 植生とバイオーム 3 節 生態系と生物の多様性 4 節 生態系のバランスと保全	・生物の多様性と生態系について、植生と遷移、生態系とその保全を理解しているととともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。また、生態系の保全の重要性について認識している。	・生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。
1 1 年次の学習内容とのつながりを確認しながら、日常生活とも関連づけ、身近にある科学に対して疑問を抱きましょう。 2 観察・実験、課題研究などを通して、その疑問を解決する方法を見つけましょう。 3 学習内容をノート（レポート）にまとめ、発表しましょう。			

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などの技能が身に付いている。
②	思考・判断・表現	観察・実験などの結果から、分析し、導き出した考えを表現している。
③	主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に対して、主体的に関わり、科学的な根拠に基づいて総合的に判断しようとしている。
定 期 考 査	1 学期中間・期末 2 学期中間・期末 学年末（計 5 回）	
評 価 方 法	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能（定期考査、ファイル、問題集） ②思考・判断・表現（定期考査、レポート、課題、意見発表） ③主体的に学習に取り組む態度（授業・実験態度、グループワーク）	

